

ニセコ町の自治創生の取組状況（報告）

1. 「ニセコ町自治創生総合戦略」の策定

「ニセコ町自治創生総合戦略」（以下「総合戦略」という。）を、平成 28 年 3 月 29 日付けで策定。

また、「第 5 次ニセコ町総合計画」は、ニセコ戦略ビジョン～基本計画の「11 住民みんながまちづくりを考え、活動します」内に、自治創生の観点を追加する等の見直しを実施。

2. 自治創生室の廃止

総合戦略の策定に伴い、平成 27 年度末をもって自治創生室を廃止。

企画環境課自治創生係は、地域おこし協力隊、集落支援員、ニセコ中央倉庫群を新たに所管。地方創生人材支援制度派遣者は、企画環境課参事として、自治創生の総合的な企画・調整等を担う。

3. 地方創生加速化交付金

地域のしごと創生に重点を置きつつ、一億総活躍社会実現に向けた緊急対策にも資する、効果の発現が高い事業を交付対象として、官民協働、政策間連携、地域間連携等の先駆性を高め、地方創生のレベルアップの加速化を図るための予算措置。

ニセコ町は、国の審査の上、5 事業（単独 2 事業、連携 3 事業）が採択され、合計 71,914 千円が交付された。【別紙】

4. ニセコ町自治創生推進本部会議

自治創生に関する施策を全庁的に推進するため、町長（本部長）、副町長（副本部長）、教育長、課長ほかで構成。

期 日：平成 28 年 5 月 25 日（水）（第 9 回）

内 容：今後の自治創生の進め方ほか

期 日：平成 28 年 7 月 25 日（月）（第 10 回）

内 容：ニセコ町自治創生総合戦略のフォローアップ方法、ニセコ町自治創生

5. まちづくり町民講座 – 結局「自治創生」って何なの？ –

住民自治活動と行政の連携に向けて、町民一人ひとりが「住民みんながまちを考え、活動する」地域社会の担い手という意識を高めることを目的に開催。

期 日： 平成 28 年 5 月 30 日（月） 18:30～20:30

場 所： ニセコ町民センター

出席者： 34 名（うち役場 16 名、一般 18 名）

<特徴的な意見（抜粋）>

- 自分の意見をまちづくりで実現できると、まちづくりへの参加が楽しくなってくる。ニセコ町の規模感ならば、実際に意見が反映されやすい。ニセコ町のファンだからというだけでない。
- 実際に町民主体のまちづくりを進めるには、行政にまちづくりの事務局という自覚を持ってもらうことについても、改めて重要となる。
- まちづくり町民講座の参加者は、移住者が大半を占めている。今回は特に、役場職員や地域おこし協力隊も多く、内輪が多めの雰囲気があった。長くニセコ町に住んでいる町民とも交流したい。

6. ニセコ町議会との意見交換

町民から選ばれた公職者であるニセコ町議会議員との意見交換の機会を積極的に設けている。

期 日： 平成 28 年 6 月 20 日（月）（政策案件等説明会）

内 容： 自治創生の取組についてほか

期 日： 平成 28 年 7 月 22 日（金）（総務常任委員会所管事務調査）

内 容： 自治創生の取組についてほか

7. 地域経済循環強化戦略の検討（委託業務）

【目的】

ニセコ観光圏の地域経済循環を客観的かつ定量的に分析することにより、本町にとって優良な投資を戦略的に生かしながら、地域経済循環を強化するための戦略を見出す。

【成果物】

ニセコ町の地域経済循環について、ニセコ観光圏産業関連表、地域経済分析システム（RESAS）、統計情報等に基づいて客観的に分析・把握することで、「思いつき」「思い込み」によらないアイデア検討に活用できる材料を見込んでいる。

<ニセコ町地域経済循環強化戦略策定支援委託業務>

（受託者：有限責任監査法人トーマツ札幌事務所）

- 1) ニセコ観光圏の地域経済分析
- 2) ニセコ町産農産物の特徴の分析
- 3) 地域経済循環強化戦略の策定
- 4) 町外へ情報発信すべき内容・方法の提案
- 5) 検討用資料の作成
- 6) ニセコ地域経済セミナー（仮称）の開催

<ニセコ町産農産物ブランド化戦略研究>

（小樽商科大学受託研究）

- 1) 観光業に対するニーズ調査
- 2) 観光客に対するニーズ調査
- 3) 栄養分析・土壌分析
- 4) 農業者との研修会によるニセコ町産農産物ブランド化戦略の検討
- 5) 検討用資料の作成

8. 広報・情報共有

（1）広報ニセコへの掲載

自治創生の輪を拡げて、町内一丸となった雰囲気づくりを進める一環として、広報ニセコに自治創生関連記事を掲載。

(平成 28 年 4 月号)

コラム「自治創生の部屋へようこそ」

(平成 28 年 6 月号)

特集「第 5 次ニセコ町総合計画」の見直し&「ニセコ町自治創生総合戦略」の策定

(2) 新聞記事

ニセコ町の自治創生に係る公開企画等について北海道新聞社倶知安支局に情報提供するなど、新聞記事を介した情報発信によって広く目に留まる工夫に努めている。

(平成 28 年 3 月 31 日 北海道新聞朝刊)

「季節雇用の通年化促進 ニセコ町が総合戦略策定」

(平成 28 年 4 月 19 日 北海道新聞朝刊)

「この人に聞く 自治創生の担い手育成 地域主体訴え 縦割りに懸念」

(平成 28 年 6 月 2 日 北海道新聞朝刊)

「自治創生って何 まちづくり議論 熱く」

9. 今後の予定 (主なトピックス)

(1) 地域づくりセミナー

外部有識者を招聘しての講演及びワークショップを通して、地方創生の最先端やヨソモノ目線を吸収しながら、自治創生の検討内容のさらなるレベルアップを図る。

① これからの自治創生を考えるセミナー

地方創生の意義等について（国の表現に頼らずに）町民目線で分かりやすく解説できる有識者を招き、総合戦略の策定後に特に必要となる、町民の自治創生の推進主体としての意識を高める。

期 日： 平成 28 年 10 月 26 日（水）

講 師： 山下 祐介（首都大学東京 都市教養学部 准教授）

② ニセコ女子に贈る自治創生セミナー（調整中）

男女共同参画や地方創生の知見を持って地域づくりに携わっている女性講師を招き、女性町民によるまちづくりのコミュニティを醸成することで、男女共同参画の推進と女性町民の地域づくりへの参画を促す。

期 日： 平成 28 年 10 月～11 月頃

講 師： 木下 富美子（博報堂ブランドデザイン コンサルタント）

（２）「ニセコ町地域経済循環強化戦略策定支援委託業務」関連

委託業務は、今後、地域の資金の流れを実際に把握している機関等の情報を収集しながら進めていく。

また、委託業務の調査結果等を踏まえて、特に域内外の事業者や投資家向け（外国人を含む。）を想定した、ニセコ町の地域経済循環のあり方を考えることを目的とした「ニセコ地域経済セミナー」（仮称）を開催する。

地方創生加速化交付金 採択事業

事業名	内容	連携自治体	交付額 (千円)
対日直接投資を生かした国際観光リゾート創造事業	<ul style="list-style-type: none"> ・中央倉庫群の再活用（備品等の整備、立ち上げ運営支援） ・対日直接投資を生かして地域経済循環を高める方策の検討 	町単独	25,312
2大産業地域（農業・観光）の特徴を活かした雇用創出・起業化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地場産品ブランド化戦略の策定 ・農業者グループに対する設備投資や研修プログラムへの助成 	町単独	25,476
課題解決型自治体アライアンス事業	<ul style="list-style-type: none"> ・環境政策による地域経済循環に向けた知見の蓄積 	下川町他	1,036
ニセコエリア誘客に向けた二次交通整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道新幹線の開業を契機とした観光客ニーズ調査と試験バス運行 	倶知安町	4,460
国際リゾートを核としたしりべし「人と仕事のベストミックス」加速化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・移住・定住促進 ・にぎわいづくり起業者等サポート事業 ・外国語指導助手の派遣 	後志総合振興局他	15,630